

第39回 日本看護科学学会学術集会

ヒトと人間の科学を看護へ ～時空を超える我々を知り、看護学を別次元へ発展させよう～

2019 11/30土>12/1日 学術集会長：石垣 和子(石川県立看護大学 学長)

パネルディスカッションⅡ 「ニューロサイエンスの現在・未来 -ヒトと人間(ひと)の科学の看護における融合-」

進歩の著しいニューロサイエンスという分野におけるご発表からニューロサイエンスの分野では驚くほどイノベーションの進んでいることを知っていただきたいと思います。同時に、ヒト、人、人間の科学がどのように組み込まれているか考え、看護における融合を考えたいと思います。

日時 2019年12月1日(日) 14:50～16:20

場所 石川県立音楽堂 (第1会場 コンサートホール)

演者

大久保 暢子 (聖路加国際大学 大学院)

ニューロサイエンスに基づく脳卒中患者の
上肢麻痺改善を促す看護ケアの創出

才藤 栄一 (藤田医科大学)

ロボットが導くリハビリテーション医療の未来

鎌倉 やよい (日本赤十字豊田看護大学)

看護における行動科学の過去・現在・未来



座長

荒木 暁子 (日本看護協会)

多久和 典子 (石川県立看護大学)